

今こそ新しい 発想をもって

南島原市議会議長
日向義忠



明けましておめでとうござい
す。市民の皆さまには、新たな希
望と期待の中で、新春を迎えられ
たことと心からお慶び申し上げま
す。
さて、「一年の計は元旦にあり」
とは、昔から言い古された言葉で
すが、一年の計画は、元旦にしつ
かりと立て、実行することが大事

新年を迎えて

長崎県知事
金子原二郎



新年明けましておめでとうござ
います。
県民の皆さまには、おすこやか
に新春をお迎えのこととお慶び申
し上げます。
昨年を振り返りますと、長年の
課題でありました大型事業が、実
現に向けて大きく動き出した年で
ありました。九州新幹線西九州

であるという意味だと思えます。
心機一転、この区切りの時に、
じっくり自分というものを振り
返つたり、周囲の状況にも目を配
りながら、新年の計画を立ててみ
ることは重要なことではないで
しょうか。

さて、早いもので合併後3回目
の新春を迎えますが、これまで築
き上げられた各地域の特性を最大
限に生かしながら、南島原市とし
ての一体感の醸成ができてつある
と実感しております。これもひと
えに、市民、事業者、行政の連携
による「市民協働のまちづくり」
の精神のもと、ご尽力いただいた
賜物と深く感謝いたします。

昨年を振り返って見ますと、内
外ともに多難な年でありました。
特に、時代の流れとはいえず、鳥鉄
の廃止という現実には、誰もが一
抹の寂しさを感じずにはおられま
せんでした。

また、「財政健全化」の掛け声
のもと、さまざまな行財政の改革
が進められております。

しかしながら、そのような苦し
い状況の中にあつても、本当に削
減されるべきもの、残さなければ
ならないもの、その見極めが、大
切だと思えます。

市議会といたしましては、「改
革」という言葉が独り歩きしない

ルートは、武雄温泉、諫早間の着
工が認められ、現在、トンネル工
事等が着々と進められています。
また、完成した諫早湾干拓農地
は、ミネラル分を豊富に含んだ土
壌で育った野菜の出荷が順調に行
われています。今後、県民の皆さ
まと共に知恵を絞り、そして力を
合わせて、新幹線や諫早湾干拓を
生かしたまちづくりや観光の振興
に取り組んでまいります。

また、昨年は、日本で初めての
「列福式」が本県で開催されまし
たが、これを機会に、キリシタン
文化を切り口とした多彩な催しを
開催して、県内外の多くの方に本
県の歴史や文化の魅力を感じてい
ただきました。これらの取組によ
り、今後、「長崎の教会群とキリ
スト教関連遺産」の世界遺産登録
に向けて大きな弾みがつくものと
思っています。

このほか、「九州・山口の近代
化産業遺産群」の世界遺産暫定リ
スト入り決定や、県と壱岐市が一
体となって整備を進めている来年
春開館予定の「埋蔵文化財セン
ター・一支国博物館」、さらには
本県を舞台とした来年のNHK大
河ドラマ「龍馬伝」の主役に福山
雅治さんが決定するなど、長崎な
らではの歴史に注目が集まってい
ます。

よう、市民の声に真摯に耳を傾
け、舵取りを誤らないよう、市当
局の動きをしっかりと注視してま
いります。

また、地域のことは、地域で対
応すべく、その責任を負うという
地方分権の時代にあつて、地方議
会の果たす役割はきわめて大きく
かつ重要となっております。

本市においても、市民の生活圏
域の拡大や高度情報化社会への対
応、少子・高齢化社会をむかえて
の子育て支援や介護保険をはじめ
とする保健福祉の充実、環境問題
やごみ処理対策などの行政課題が
山積しております。

私たちは、今こそ南島原市のお
かれた現状を直視し、そして南島
原市の未来について熟考し「豊か
で活力のある南島原市」の実現を
目指し、行動していく必要がある
と考えております。

今後とも、議会運営にあたって
は、皆さま方のご意見、ご要望を
拝聴し、「市民の皆さまがより一
層快適に住み、働き憩うことので
きる南島原市」の実現を目指し、
議員一同、力を合わせ、一層の努
力をしていく所存でございます。

どうか、市民の皆さまにおかれ
ましては、今までの温かいご
支援、ご協力を賜りますようお願い
申し上げます。

これらを絶好の機会と捉えて、
本県の歴史や文化を国内外に広く
発信していくとともに、2012
年に開催予定の大型イベントに向
けて、交流人口の拡大につながる
魅力ある観光地づくりを進めてま
いります。

品質に優れた本県の農水産物に
ついては、ブランド化や首都圏な
どでの販路拡大を進めています
が、昨年は、北京で日本の自治体
として初めて大規模な「長崎フェ
ア」を開催し、本県を強くアピ
ルすることができました。今後
は、県産品の販売ルートの確立や
観光客の誘致などに取り組み、中
国における長崎ブランドを確立し
たいと考えています。

県政の切実な課題である雇用の
場の確保については、これまでも
企業誘致や地場企業の振興などに
全力で取り組んでいます。昨年は
波佐見町に整備中の県の工業団地
にキャンオン(株)の進出が決定しまし
ましたが、一千人を超える雇用が計画
されており、今後、若者の地元定
着の受け皿として期待していま
す。

このほか、犯罪や災害から県民
の皆さまを守り、福祉や医療を充
実させ、安全・安心なまちづくり
を進めてまいります。特に、将来
を担う子供たちのため、昨年制定

さて、私の好きな言葉に「一陽
来復」という言葉があります。こ
れは、「よくないことが続いたあ
とに、よいことがめぐってくるこ
と」という意味があります。

現在は、国内外ともに著しく変
貌する社会情勢の中で、未だ、
はっきりした景気好転の兆しは見
えにくく、閉塞感ただよう社会状
況ですが、殺伐とした今の時代に
おいてこそ、人々に希望を与える
言葉ではないでしょうか。

従来の考え方にとらわれない新
しい発想をもって、この難局を乗
り切り、南島原市が、明るい話題
で満ち溢れますよう、「一陽来復」
の兆しを期待しながら、皆さまと
ともに歩んでまいります。

最後に、新しい年が皆さまに
とつて、実り多い年でありませ
うお祈り申し上げます。年頭の
ごあいさつといたします。



した「長崎県子育て条例」に基づ
き、安心して子どもを生み育てる
ことのできる社会の実現をめざし
てまいります。

本年7月には、佐世保市におい
て献血運動推進全国大会が、ま
た、秋には、雲仙市において全国
育樹祭が開催されます。これらの
大会は、例年、皇族殿下をお迎え
して、我が国の血液事業の推進や
国民的な緑の祭典として開催され
るものです。私たちのおもてなし
の心で、全国から参加される多く
の方々にも本県の魅力を知ってい
ただく良い機会となりますよう、皆
さまのご協力をお願いいたしま
す。

昨年の明るい話題として、下村
脩博士のノーベル化学賞の受賞
や、内村航平選手の北京オリン
ピック体操競技での銀メダル獲得
がありました。あらためてお二人
の栄誉を讃えるとともに、学問や
スポーツに励む県内の子供たちに
大きな誇りと夢を与えてくれたと
思っています。

終わりに、本年が、皆さまにと
りまして素晴らしい年となります
よう心からお祈りいたします。新
年のごあいさつといたします。